

とちぎ

県民だより

8月号



編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市鳩田1-1-20

TEL 028-623-2159 FAX 028-623-2160

米国インディアナ州と姉妹提携

●産業、農業、教育、文化など、様々な分野での交流を確認

●世界に開かれたとちぎづくり



●ユニバーシティ・パークからインディアナポリスのダウンタウンを望む



●姉妹提携協定書にサインする渡辺知事

国際交流の推進のために

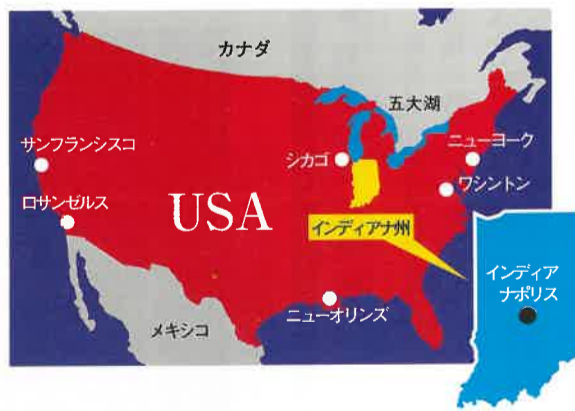
これまでに、多くのご要望のあった英語圏の国との交流を進めるため、アメリカ合衆国インディアナ州と姉妹提携を結ぶこととなり、七月十六日、「栃木県とインディアナ州の姉妹提携に関する協定書」の調印式が行われました。

県では、県民の皆さまに国際理解を深めていただくため、中国の浙江省、フランスのヴォークリューズ県との間で、様々な交流を行っています。

今年、英語圏の国としては初めて、アメリカ合衆国インディアナ州と姉妹提携を結びました。

インディアナ州って？

インディアナ州とは、ラテン語でインディアンの土地を意味します。もともとインディアン居住区だったこの地は、一八一六年にアメリカの十九番目の州になりました。



部北東地域に位置し、北はミシガン州（ミシガン湖）、南はケンタッキー州、東はオハイオ州、西はイリノイ州に接しています。高速道路や鉄道網が集中しているため、「アメリカの十字路」と呼ばれています。

インディアナ州を紹介するイベント

多くの県民の皆さまにインディアナ州を知っていただくためのイベントを企画しています。

十月二十二日（金）から三日間、宇都宮市の産業展示館（マロニエプラザ）で行われる「ふるさとマロニエフェア」で、インディアナ州のコーナーを設けます。アメリカンスタイルのモーターハウスを中心に、同州の生活や文化、物産など、様々な角度から紹介します。

また、(財)とちぎ国際交流センターでもインディアナ州を紹介する特別企画展を行う予定です。ぜひ皆さままでお出かけください。

問合せ 県国際交流課

TEL 028-623-2163

THE INDIANA STATE COLLECTION



州の花 ★ポタン (ピーアニー)
ポタン科の落葉低木。多数の重宝品種があり、花色は白、淡紅、朱紅、紫、暗紫紅、黄色等で、半八重から万重咲き、獅子咲き、二段咲きなどがある。



州の木 ★ユリノキ (チューリップツリー)
モクレン科の落葉高木。葉が半円の形に似ている。初夏に大形の黄色い花が咲く。



州の鳥 ★ジョウジョウカクシ (カーディナル)
ホウジロ科の鳥。雄は鮮紅色の冠羽を持ち、顔からのどにかけては黒く前身赤色。鳴き声は美しい。

●インディアナ州は、毎年5月に開催されるカーレースのインディ500マイルで世界的に有名。プロスポーツでは、NBAバスケットボールチームの「インディアナ・ペイサーズ」、NFLフットボールチームの「インディアナ・コルツ」などがある。また、俳優のジェームス・ディーン、歌手のマイケル・ジャクソン、第23代大統領のベンジャミン・ハリソンらの出身地でもある。

八月末豪雨から一年 復旧と防災対策

● 災害に強い県土を目指して

平成十年八月末、県北地方を襲った豪雨災害から、一年が経とうとしています。

誰も予想し得なかった未曾有の豪雨。死者五名、行方不明者二名、負傷者十九名。農地は河原になり、橋は流失。住家四十五棟が全壊するなど甚大な被害が発生しました。災害以来、行政はもとより、地域住民、企業やボランティアなど、各方面での復旧に向けた懸命の努力が続けられています。

ここでは、これまでの県の復旧への取組と今後の防災対策について紹介します。

復旧への取組

昨年八月末の豪雨により、県北地方を中心に河川の氾濫や土砂崩れが発生。河川や道路・橋りょう、農地や森林等にも甚大な被害もたらされました。

県では、昨年度と今年度の二カ年度で、総額五百二十七億円の災害関連予算を計上。また、四月には、現地に河川改修事務所や農地復旧対策班を設置し災害復旧事業に全力を挙げています。特に大きな被害を受けた、余笹

川や黒川等の余笹川水系の河川では、治水の安全度をさらに向上させるため新たに河川整備計画を策定し、全面的な改良復旧工事を進めています。

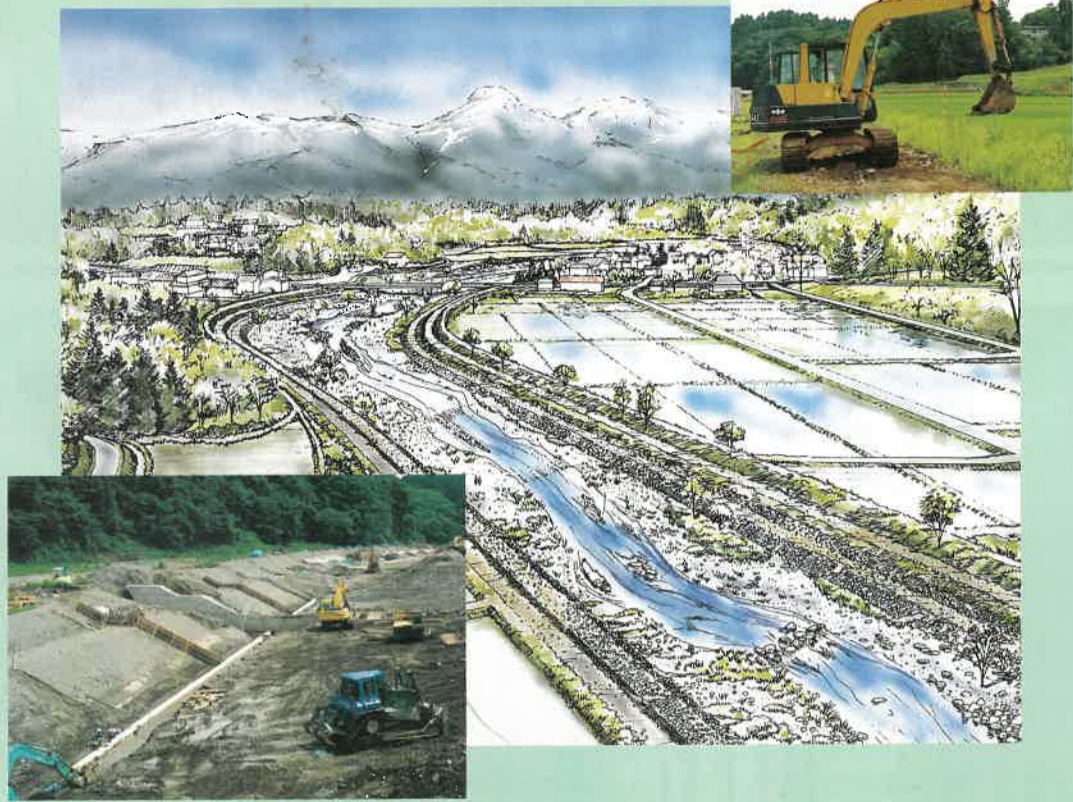
これまでに、余笹川（延長十六km）で約五十％、黒川（二十八・九km）で約二十五％の工事に着手したほか、四ツ川（七・三km）でも、本年秋の工事着手を目指して取り組んでいるところです。

余笹川水系以外の河川については、全体の約八割の復旧が完了しており、残る二割も年度内の完成に向けて工事を進めています。

また、総面積四百三十八haもの被害のあった農地・農業用施設については、二百三十三ha（全体の五十三％）の復旧が、今年の田植え前までに完了。河川の復旧工事との調整や土地改良などが必要となる残り二百五haについても、来年度の田植えに間に合うよう、作業を急いでいます。

林業関連の被害については、生活に密着した林道の復旧工事を優先的に進めています。また、土砂災害から住民の生活や森林を守る治山ダム工事や緑化工事について

余笹川改良復旧後イメージ



● 復旧に取り組む、余笹川流域河川改修事務所

防災対策

も、早期完成を目指して、復旧に努めています。

災害による被害を最小限に食い止めるには、災害に対する日ごろからの準備と、災害時における気象や災害状況の確かな把握、迅速な対応が重要です。県では、昨年の豪雨災害を踏まえ、防災計画の見直しや防災体制の強化に取り組んでいます。

去る八月九日、県内の防災関係機関からなる県防災会議を開催しました。この会議では、県の防災対策の基本となる「栃木県地域防災計画」について、災害情報の迅速確実な収集・伝達、県民の防災意識の高揚等を大きな柱とし、抜本的な見直しを行いました。

また、現在の県防災行政無線に代わる「県防災行政ネットワーク」を来年四月から稼働させます。災害時の通信に衛星通信回線とNTT専用回線の二系統を併用し、迅速確実な情報伝達ルートを確保するとともに、構成機関には新たに東京電力、NTT、医療センター、警察署等を加えるなど体制の強化も図ることとしています。このネットワークにより、気象情報や河川の水位情報、震度情報が瞬時に関係機関に配信されます。

このほか、気象台からの注意報や警報についても、県や市町村の担当職員が携帯するポケットベルに自動的に送信されるシステムも導入します。

これら情報網の整備によって、災害発生から対応までの時間が短縮され、より迅速確実な防災活動の実施が可能となります。

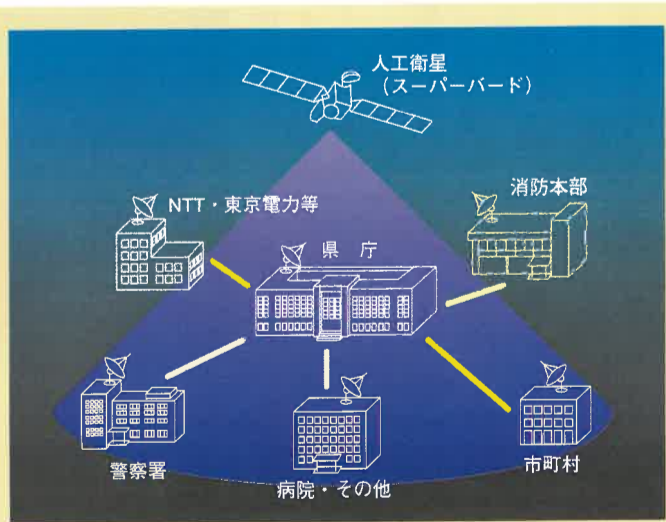
総合防災訓練実施

県では、防災体制の強化に併せ、各種の防災訓練を積極的に実施しています。

今年五月十五日には、佐野市で全国でも最大規模の「利根川水系連合水防演習」を行いました。

また、八月二十九日（日）には足利市渡良瀬運動場で、栃木県・足利市総合防災訓練を行います。この訓練は、大規模な震災や水害を想定し、避難訓練や応急・復旧訓練などを行うものです。各種の実践的訓練により防災技術の向上を図るのとはより、地元住民・行政・防災関係機関の相互の連携を強化し、防災計画をより実効あるものとするともに、県民の皆さんの防災意識を高めていただくことを目的としています。

この機会に多くの皆さんの参加をいただき、防災について考えるきっかけにしたいだけだと考えています。



● 県防災行政ネットワークの拡充により、行政・消防・病院など155機関が、結ばれる。衛星通信回線とNTT専用回線2つの通信ルートを確認。右は県庁内に新たに設置されたパラボラアンテナ。



● 水防訓練の様子（利根川水系連合水防演習5月15日佐野市）

◆ 問合せ 県消防防災課
電話028-623-2136



オーナー杉が四百本に

国内で唯一、国の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けている「日光杉並木街道（全長三十七キロ）」は、生育環境の悪化などから危機的な状況にあります。県ではこれを保護する目的で、平成八年秋に「日光杉並木オーナー制度」を創設しました。

この制度は、保護に賛同される方に杉を一本一千万円で購入していただき（解約は随時）、その運用益を活用して樹根の保護や土壌改良などの樹勢回復事業を行うものです。

お陰様で、創設以来多くの方々のご協力をいただき、本年六月末でオーナー契約本数が四百本を超えました。

杉並木保護の輪が着実に広がっています。世界に誇る貴重な文化遺産である「日光杉並木街道」を守り、次の世代へと伝えていくため、今後とも皆様のご理解とご協力をお願いします。

◆問合せ 県文化財課
☎028-623-3460



●オーナー証書交付式（県公館にて）

子どもの森第一号オープン
馬頭町「えほんの丘」

県では、子育て環境づくり推進事業の一環として、平成九年三月に「子どもの森基本構想」を策定、子どもたちが遊びの楽しさと自然のすばらしさを体験できる、子どもの森の整備を支援しています。

去る六月十二日、その第一号として、馬頭町小砂に約十ヘクタールの広さを誇る子どもの森「えほんの丘」がオープンしました。



●自然観察会に参加する子どもたち

この子どもの森「えほんの丘」には、馬頭町の緑豊かな自然を活かし、多目的広場、体験農場、遊歩道が整備されています。また、森の中には「いわむらかずお絵本の丘美術館」があります。

ここでは、絵本作家の岩村さんをはじめ、多くの地域ボランティアの方々の協力を得て、子どもたちの豊かな感性と創造力を培う新しい子育て環境づくりを進めています。

◆問合せ 県児童家庭課
☎028-623-3068

わんぱく農業体験
「アグリメイトクラブ」

県は今年度から、農作業や作物の栽培などを通して、子どもたちに農業・農村への理解を深めてもらうことを目的に、「アグリメイトクラブ活動推進事業」を始めました。

この事業では、各地の小中学生が三十人程度のクラブを組織し、地域の農家の人たちの指導を受けながら、水稲、とうもろこし、サツマイモなどの作物を、種まきから収穫まで体験します。農業体験をする場合は、地元農家の協力を得て、各地で十人程度ずつ借り受けています。

秋には、収穫祭の他、穫れた農作物の形や大きさなどを競い合うコンクールも開催される予定です。また、クラブ員として活動した子どもたちには「わんぱく農業博士号」が授与されます。

今年度は、鹿沼市や小山市など県内十四市町村で実施、三年間かけてすべての市町村での実施を予定しています。

◆問合せ 県普及教育課
☎028-623-2316



●城西っ子アグリメイトクラブ（宇都宮市）

二十一世紀の栃木県を描く
とちぎ21世紀フォーラム開催

現在県では、二〇〇一年度からスタートする新しい総合計画を策定しています。

この計画は、幅広い県民の皆様に参加を得ながら策定したいと考えており、その一環として、県内を四地区に分けてフォーラムを開催しました。

フォーラムでは、産業、福祉、教育、まちづくりなど様々な分野について、二十一世紀の栃木県を描くための貴重なご意見やご提言をいただきました（概要を県ホームページで公表しています）。

●<http://www.pref.tochigi.jp/newplan/>



●栃木・小山・両毛地区フォーラム

また、計画策定にあたり、インターネットでご意見等を募集しています。さらに、小中学生の皆さんから「二十一世紀わたしたちのとちぎ」イメージ絵画を募集しています。県民の皆様積極的な参加をお願いします。

21世紀わたしのとちぎ
イメージ絵画コンクール

自由なテーマで21世紀の栃木県をデザインしてください。お寄せいただいた中から、何点かを計画書の中で使わせていただきます。

- 応募資格 県内小中学校の児童・生徒
- 作成要領 四切り画用紙、縦・横自由、材料自由、文字は入れない
- 表彰 優秀作品に賞状と記念品
- 応募期限 平成11年9月30日(木)必着
- 応募及び問合せ ☎028-623-2206

とちぎに国会を!!



●国会等移転の候補地である那須地域を2回に分けてご紹介します。

那須地域は、那須地区、南那須地区、塩谷地区の16市町村で構成される地域です。

- ◎人口 約39万人（県人口の19%）
- ◎面積 2,230km²（県土の35%）
東京都より少し広い面積を有していますが、人口は、東京都の3%くらいです。
- ◎地形及び景観
 - 《北西部》 那須連山、高原山に代表される山岳地帯であり、那須高原や塩原温泉などのリゾート地もあり、美しい自然景観を有しています。
 - 《中央部から南部》 那須野ヶ原を中心とする中央部から関東平野に属する南部にかけて平坦な地形が広がっており、その中に緩やかな丘陵地が存在しています。そこには平地林と田園風景が広がっています。
 - 《東部》 緩やかな山並みを見せる八溝山地と那珂川があり、日本の原風景といえる里山の景観が多く残されています。

国会等移転トピックス

●波辺知事、衆議院で那須の適地性をアピール!

6月30日、衆議院国会等移転に関する特別委員会に波辺知事が参考人として出席。東京都との連携など那須地域の適地性を強くアピールしました。また、那須野ヶ原の開拓の歴史を説明し、明治維新後の国づくりのロマンが息づく那須地域が21世紀の新しい日本を拓くにふさわしい土地柄であることを披露しました。



(写真：下野新聞社提供)

●「北東地域首都機能移転促進大会」を東京で開催

7月29日、栃木、茨城、福島、宮城の4県に山形県を加えた北東地域の5県が共同して「北東地域首都機能移転促進大会」を東京で開催しました。大会には、千人を超える方々が参加し、本県代表で、波辺知事、吉谷県議会国会等移転特別委員会委員長、藤井経済同友会代表幹事らが壇上に上り、決意表明や「移転先として最もふさわしい北東地域」をアピールする5県共同による大会宣言を提案し、採択されました。

◆国会等移転に関するお問い合わせは
県国会等移転対策室 ☎028-623-2208

マロニエ ガイト



(写真：野木町提供)

花 歳 時 記

ヒマワリ (キク科)

夏の元気を集める大輪は、見てだけで遅さを感じます。青空を目指し、太陽を追いかけて、いつも上を向いて咲く花に、勇気をもった人もきっと多いはず。食用にもなる種は、一花に約900粒もあります。

ウォッチングポイント

野木町の『ひまわりフェスティバル』会場が狂巻。今年は、約20万本のひまわりが咲きました。

カルチャー CULTURE

県立博物館

- 展覧会(1)第65回企画展「麻-大いなる繊維-」●8月1日(日)~10月24日(日)(2)テーマ展「栃木の昆虫」●7月20日(火)~9月5日(日)
- 講座「郷土芸能フェスタ『日本にも合唱があった』」●9月5日(日)●要申込み
- 体験学習「こすりだしに挑戦」●9月12日(日)●対象 小・中学生●当日博物館受付へ
- 夏休みアニメ映画大会●8月15日(日)・17日(火)・18日(水)●当日博物館講堂へ
- 問合せ、申込み ☎028-634-1312

県立美術館



木村繁之
《記憶の器》
1998年

- 企画展「メタモルフォーゼ-真昼の瞑想- 90年代の日本の美術」
- 7月11日(日)~9月26日(日)
- 日本美術の内面的で奥の深い作品のつづきややささをすくい取り、日本の現代美術との新たな対話の可能性を提案する展覧会です。
- 問合せ ☎028-621-3566

県子ども総合科学館

- ミニ工作教室●9月11日(土)午前11時15分~、午後2時15分~●シュリンクシートで遊ぼう●要申込み、各回30名
- 児童劇●9月12日(日)午後1時~、午後3時~●各回200名(整理券配付)
- 問合せ ☎028-659-5555



- 山火事予防ポスター原画及び標語
- 応募資格 《ポスター原画》中・高校生《標語》中・高校生及び一般の方 ●応募 中・高校生は学校単位で、一般の方はハガキで ●締切 9月15日(水)
- 問合せ 県造林課 ☎028-623-3296

- 河川愛護ポスター
- 趣旨 河川愛護意識の高揚を図る ●規格 原則としてB3判のタテ書き。色は自由 ●締切 9月30日(木)
- 問合せ 県河川課 ☎028-623-2439

- ふるさとの松ポスター原画コンクール
- 内容 松を題材にしたポスター原画 ●資格 県内に在住または通学・通勤している方 ●規格 B3判。色彩自由 ●締切 9月30日(木)
- 県造林課 ☎028-623-3296

- Tマーク商品募集
- 優秀なデザインの自社製品をTマーク商品(栃木県優良デザイン商品)に選定。特に優れたものには「とちぎデザイン大賞」を授与 ●締切 9月30日(木)
- 問合せ 県工業課 ☎028-623-3199

- 「ジュニア知事さん」作品募集
- テーマ 「もし、私が知事になったらこんなことをしてみたい」 ●対象 小学校4・5・6年生 ●規格 400字づつ原稿用紙1枚 ●締切 10月20日(水)
- 問合せ 県広報課 ☎028-623-2158

- 看護実習指導員 (非常勤職員)
- 県南高等看護専門学院の病院実習における指導員 ●資格 助産婦又は看護婦の資格を持ち、3年以上の看護業務経験を持つ40歳以下の方 ●募集人員 若干名
- 問合せ 同専門学院 ☎0282-27-7888

県総合文化センター

- 読売日本交響楽団ワークショップ
- 参加者募集
- 新進音楽家演奏会第4回コンセル・マロニエ21 ●オーティション 9月2日(木)~5日(日)
- 演奏会 10月3日(日)午後1時~
- コンサート・エレガンス'99
- ①ヨセフ・スーク&仲道郁代(写真) ●10月16日(土)②ウィーン木管八重奏団 ●11月27日(土)いずれも午後6時30分
- 問合せ ☎028-643-1010

案内

- 「宇都宮情報プラザ」オープン
- ハローワーク宇都宮の求人情報をパソコンで自由に検索できる「宇都宮情報プラザ」がオープンしました ●場所 宇都宮市駅前通り1-3-1フジックスステイルビル2F(ハローワーク駅前プラザ内) ●利用時間 午前8時30分~午後5時(平日)
- 問合せ 同プラザ ☎028-623-8609

- 「ナースバンク」をご利用ください
- 県ナースセンターでは、結婚・育児等で退職された看護職の方々に、看護職の無料職業紹介や再就業のための講習会等を行っています ●「ナースバンク」に登録して、あなたの看護の資格を生かしてください ●問合せ (社)県看護協会 ☎028-625-3831

- 中小企業情報化アドバイス事業
- 県中小企業振興センターでは、パソコンをはじめとしたコンピューターに関する相談に対し、専門家を無料で会社に派遣しアドバイスを事業を実施しています。是非ご利用ください ●申込み 同センター ☎028-637-3788

- 戦没者等の遺族の皆様へ
- 第七回特別弔慰金が支給されます
- 戦没者死亡当時の三親等内親族で次の要件をすべて満たす方に特別弔慰金(額面24万円、6年償還の国債)が支給されます ●支給条件 ①今までに特別弔慰金の受給権を取得した遺族がいないこと ②平成11年4月1日現在、公務扶助料、遺族年金等の受給権を有する遺族がいないこと ●詳しいことは、県高齢対策課(☎028-623-3054)又は市町村の援護担当課までお問い合わせ下さい。

県政

催し

- ソーラーカーレース IN TOCHIGI
- 8月22日(日)午前11時~ (雨天順延) ●会場 栃木富士産業(株)試験場(栃木市大光寺町) ●入場無料 ●JR小金井駅と東武壬生駅から無料バス運行
- 問合せ 県環境管理課 ☎028-623-3185

- 農業試験場公開デー
- 8月25日(水)、26日(木)午前9時~午後4時(26日は午後1時まで) ●会場 農業試験場(宇都宮市瓦谷町) ●内容 研究成果展示、研究施設、試験ほ場公開、各種作物の育て方相談、野菜・花・培養苗プレゼント、餅つき大会等
- 問合せ 同試験場 ☎028-665-1241

- 下水道フェスティバル
- 8月28日(土)午前10時30分~午後1時30分 ●会場 鬼怒川上流浄化センター(今市市町谷) ●内容 マスのつかみ取り、ピンゴゲーム大会、各種イベント
- 問合せ 同センター ☎0288-21-7311

- 障害者との交流の集い
- 11月27日(土)~28日(日) ●会場 那珂川苑(馬頭町) ●費用 6,000円 ●対象 県内在住の方30名程度(健康者・障害者問わず) ●応募締切 9月30日(木)
- 問合せ 県身体障害者総合相談所 ☎028-623-6353

講座

- 地方分権講演会
- 8月25日(水)午後1時30分~3時 ●会場 アピア(宇都宮市戸祭元町) ●内容 講演「地方分権の課題と展望」/西尾勝氏(国際基督教大学教授) ●入場無料
- 問合せ 県企画調整課 ☎028-623-2206

- 県同和对策推進県民会議担当者研修会
- 8月31日(火)午後1時30分~3時 ●会場 県総合文化センター・サブホール(宇都宮市)
- 内容 メッセージと音楽のひとつとき/語り部 池田千鶴子さん(ハープ奏者) ●入場無料
- 問合せ 県同和对策課 ☎028-623-3026

募集

- きのこ・山菜料理コンクール
- 料理内容 きのこ又は山菜を主材料とし、いずれも材料費2,000円以内(4人分)1時間以内に調理できる未発表の作品 ●応募方法 応募票に写真を添え郵送 ●締切 9月14日(火) ●問合せ 県特用林産協会 ☎028-623-3271

しせつ

栃木県民ゴルフ場

- 鬼怒のせせらぎと花いっぱい18ホール
- 鬼怒川河川敷の広大でフラットな空間を利用した18ホール(6,609ヤード、パー72)の本格的なパブリックコースです。広々としたコースからは、日光、那須連山や高原山を遠望できます。池を眺めながらのショットや起伏のあるベントグリーンは、決してプレーヤーを飽きさせません。また、「花と緑いっぱいのゴルフ場造り」をテーマに、バラや四季折々の草花による花壇がコースに彩りをそえています。
- 県民ゴルフ場では、ゴルフを気軽に楽しんでいただけるよう各種サービスを実施しています。

- シニアサービス
- 月曜日 60歳以上対象 飲食2,000円まで無料



- レディースサービス
- 金曜日 女性対象 飲食2,000円まで無料
- ジュニア&カレッジサービス
- 1年中 大学生以下の学生又は18歳未満が対象 平日4,270円 休日8,470円でプレー
- オープンコンペ
- 参加費無料 賞品多数 誰でも参加可
- 夏期サービス(9月30日まで)
- 昼食付き 平日6,800円 休日10,800円
- 所在地：高根沢町大宝壱寺828
- 問合せ：☎028-675-7222

番組

栃木県提供の番組

【とちぎテレビ】

- 番組名 「とちぎ倶楽部」
- 毎週日曜日 9:00~9:30
- 大きなテーマで取り上げた県の施策や、県民の皆様から募集したビデオ等を紹介しています。
- 番組名 「マロニエギャラリー」
- 毎週土曜日 21:55~22:00
- 洋画、日本画、工芸、版画など、県内にある著名な美術品を紹介しています。

●県提供番組に関するお問い合わせは 県広報課 ☎028-623-2190

【テレビ東京(12チャンネル)】

- 番組名 「とちぎウォッチング」
- 毎週木曜日 9:25~9:30
- 本県を代表する美しい自然や文化、歴史など栃木ならではの魅力を首都圏に向けて発信。
- PICK UP
- 8月19日「避暑地日光のページを開いた英国公使」
- 8月26日「グラバーが奥日光に残してくれた贈り物」
- 9月2日「紳士達が集う湖畔の社交倶楽部」



ベルギー大使館の別荘 (9月2日放送)